

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

令和4年1月14日

協議会名: 須崎市地域公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
須崎市	南～須崎線	<p>市営バスの利用促進のため、以前より要望のあった市道桐間1号線等3区間をフリー乗降にし、利便性向上を図るとともに、ホームページ等による情報発信を継続している。</p> <p>利用者の要望等の把握については、単独ではできていないが、地域公共交通計画策定のために、令和3年8月に実施した公共交通アンケートに、バスの利用目的や要望の設問が含まれているため、その結果を事業の参考としていく。</p>	<p>A 運行については、適切に実施したが、「市営バスおためし乗車ツアー」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、実施できなかった。</p>	<p>B</p> <p>【乗客数】 目標達成率: 85.9% 目標 : 22,635 人 実績 : 19,420.5人 対前年比 : 96.9% 対前々年比: 84.9%</p> <p>【運賃収入】 目標達成率: 82.5% 目標 : 5,274,870円 実績 : 4,351,980円 対前年比 : 94.2% 対前々年比: 81.5%</p> <p>【収支率】 対前年比 : ▲3.0% 対前々年比: ▲7.7%</p> <p>乗客数、運賃収入とも目標達成できておらず、前年・前々年と比較しても減少している。</p> <p>これは、新型コロナウイルス感染症の影響による外出の機会の減少が原因の一つと考えられる。</p>	<p>地域公共交通計画策定のための公共交通アンケートにおいて、満足度が低かった待合空間について、バス停へのベンチ設置等を計画的に行っていく。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、市営バスおためし乗車ツアーの実施に向けて検討する。</p>